

# 2006 環境シンポジウム

◆◆◆ 2010年環境行動計画目標達成に向けて ◆◆◆

## 趣 旨

「エコアクション21」では、環境目標に「市民による環境行動に対する協力」を掲げ、環境共生型の住まい方に関する情報等をエンドユーザー等へ積極的に提供することを目標としています。

この活動の一環として、環境行動計画中間目標年でもあります2005年度の目標管理実績調査結果と会員各社の環境への取組み事例の報告会を下記のように開催致します。住宅事業者及び従業員をはじめ、一般の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

## 開催日時

平成18年11月24日 金曜日 13:00 ~ 16:50

## 会 場

住宅金融公庫本店 すまい・るホール

## スケジュール

13:00 ~ 開会のあいさつ

13:05 ~ 特別講演『温暖化予測の有効利用の可能性』

海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター おおふち わたる 大淵 濟 氏

14:00 ~ 「2005年度エコアクション21」調査実績報告

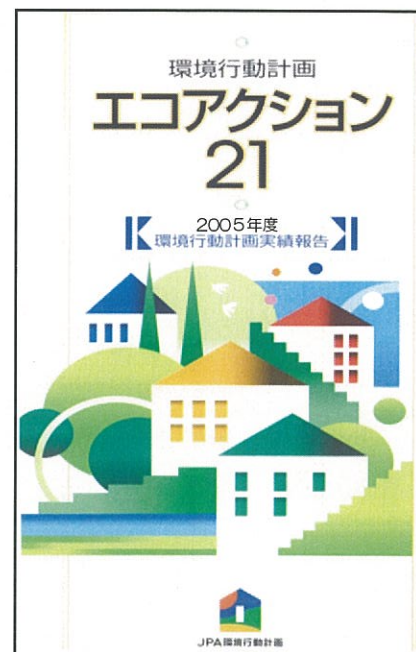
14:30 ~ ( 休 憩 )

14:40 ~ 各社 改善事例報告

- (1) 積水ハウス(株)  
「サステナブル デザイン ラボラトリーの紹介」
- (2) パナホーム(株)  
「工場における省エネルギー活動」
- (3) 大和ハウス工業(株)  
「住宅新築現場における3Rの取組み」
- (4) 旭化成ホームズ(株)  
「地中熱冷暖房システム」
- (5) 積水化学工業(株)  
「光熱費ゼロ住宅の取組み」

16:30 ~ 質疑応答

16:45 閉 会



講演者紹介

おふち わたる  
大淵 濟 氏

(海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター 大気・海洋シミュレーション研究グループリーダー)

- 〔経歴〕 1987年 東京大学理学部地球物理学科 卒業 (理学士)  
 1989年 名古屋大学理学研究科大気水圏科学専攻 (理学修士)  
 1991年 米国プリンストン大学大学院大気海洋科学プログラム (Master of Arts) 1994年 (Doctor of Philosophy)  
 1994年 米国テキサスA&M大学気候システム研究プログラム ポスドク研究員  
 1996年 米国大気科学連合大学 客員研究員  
 1999年 海洋科学技術センター 地球フロンティア研究システム 研究員  
 2004年 海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター 現在に至る

〔受賞〕 スーパーコンピューティング2002 ゴードン・ベル最高性能賞

〔講演要旨〕 温暖化予測から不確定性を完全に無くすることはできません。また、50年後の予測をすると、50年経たないとその予測が正しかったのかどうか検証ができません。さらに、温暖化予測は政策決定に必要なと思われるのですが、市民や企業には必要ないのでしょうか？

温暖化予測はグローバルな変化から局所的な変化を研究するように、大きいところから小さいところへと進んできました。一方、住宅建築は家作りから街作り、環境作りへと小さいところから大きいところへと視点がどんどん広がりつつあるように見えます。

そのようなことを議論しながら、我々がお互いに歩み寄れる接点を探りたいと思います。

お申し込み・お問い合わせ

お申し込み 下記の「環境シンポジウム参加申込書」にご記入のうえ、FAXにて送信下さい。尚、定員(250名)を超えた場合は、お断りすることがございます。

参加費 無料

お問い合わせ 社団法人 プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局  
 TEL.(03)3502-9451 FAX.(03)3502-9455

住宅金融公庫本店 1階すまい・るホール 案内図



(社)プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局 行

FAX.(03)3502-9455

「環境シンポジウム参加申込書」

平成18年11月20日までにFAXして下さい

|              |  |      |  |
|--------------|--|------|--|
| 会社名<br>(団体名) |  | TEL. |  |
| 氏名           |  |      |  |
|              |  |      |  |
|              |  |      |  |

(社)プレハブ建築協会 環境シンポジウム事務局  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルB階